

自主防災訓練によるまちづくり



【大高学区】

■世帯数：4,004 世帯

■人 口：10,172 人

■面 積：3.354 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・災害対応に必要な知識や技術の習得による地域防災体制の強化、および防災意識の向上を目的として、大高小学校体育館および校庭にて自主防災訓練を実施している。参加者数は約 560 人。
- ・訓練内容は、消防広報車による被害状況等の情報収集、避難広報活動訓練、自主防災会による避難誘導訓練、情報伝達訓練、学区本部運営訓練、初期消火訓練、応急手当訓練など。
- ・区政協力委員と消防団で訓練計画を立案し、消防団と緑消防署で実施計画を作成する。区政協力委員会で広報し、学区連絡協議会も実施主体として参加する。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧

【アピールポイント】

住民が防災について意識するようになり、防災訓練への参加者が増えてきている。また、相互連携と近隣の連携ができつつある。

2 きっかけ、背景

平成 14 年に当学区で緑区総合防災訓練が実施されて以降、住民の防災意識が高揚し、単位町内会、学区総合訓練が実施されるようになった。平成 20 年以降は、学区総合と単位町内会での訓練を隔年で実施している。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、消防団員 計約 50 人

(2) 他団体との協力

地域の企業

4 実施のスケジュール

H23 年 10 月 緑消防署に機材借用の申請等



H24 年 4 月 学区の行事計画に計上



5 月 チラシを回覧し、各戸に広報



6 月 防災訓練の実施



5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・ 前回から大幅に参加者数が増加した。(学区総合訓練の参加者数約 250 人→約 560 人)
- ・ 住民の防災意識が向上した。また、防災訓練を通して住民相互の親睦と近隣のつながりが生まれた。
- ・ 活動の担い手が増加した。

(2) 苦労した点

- ・ 日曜日開催であるため、協力企業からの参加者が少ない。

(3) 今後の課題・展望

- ・ 企業へ参加者を増やしてくれるよう依頼したい。
- ・ 海拔ゼロメートル地帯があり、避難場所の確保が課題となる。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・ 防災訓練は継続して実施し、実績を積み上げていくことが重要です。

